

平成19年度 アサガオ被害調査 結果報告

埼玉県環境科学国際センター
自然環境担当

アサガオ被害調査－平成19年度結果－

1) 214の有効調査地点のうち、213地点で、アサガオの葉に可視障害が発現した。

2) 被害葉率(被害葉の数÷現存葉の数×100)
の有効調査地点平均値: 45.2%

→ 埼玉県は光化学スモッグによるアサガオの被害が発生しやすく、各調査地点では、出現した葉の4割5分程度に被害が発現したことを示している。

アサガオ被害調査－平成19年度結果－

3) 被害面積率(累積葉被害面積率÷現存葉数)の有効調査地点平均値: 22.2%

→ 各調査地点では、出現した葉1枚あたりにおしなべて換算すると、葉の面積の2割程度に被害が発現したことになる。

4) 平均被害面積率(累積葉被害面積率÷被害葉数)の有効調査地点平均値: 45.7%

→ 各調査地点で被害が発現した葉では、葉の面積の4割5分程度にまで達する激しい被害が発現したことになる。

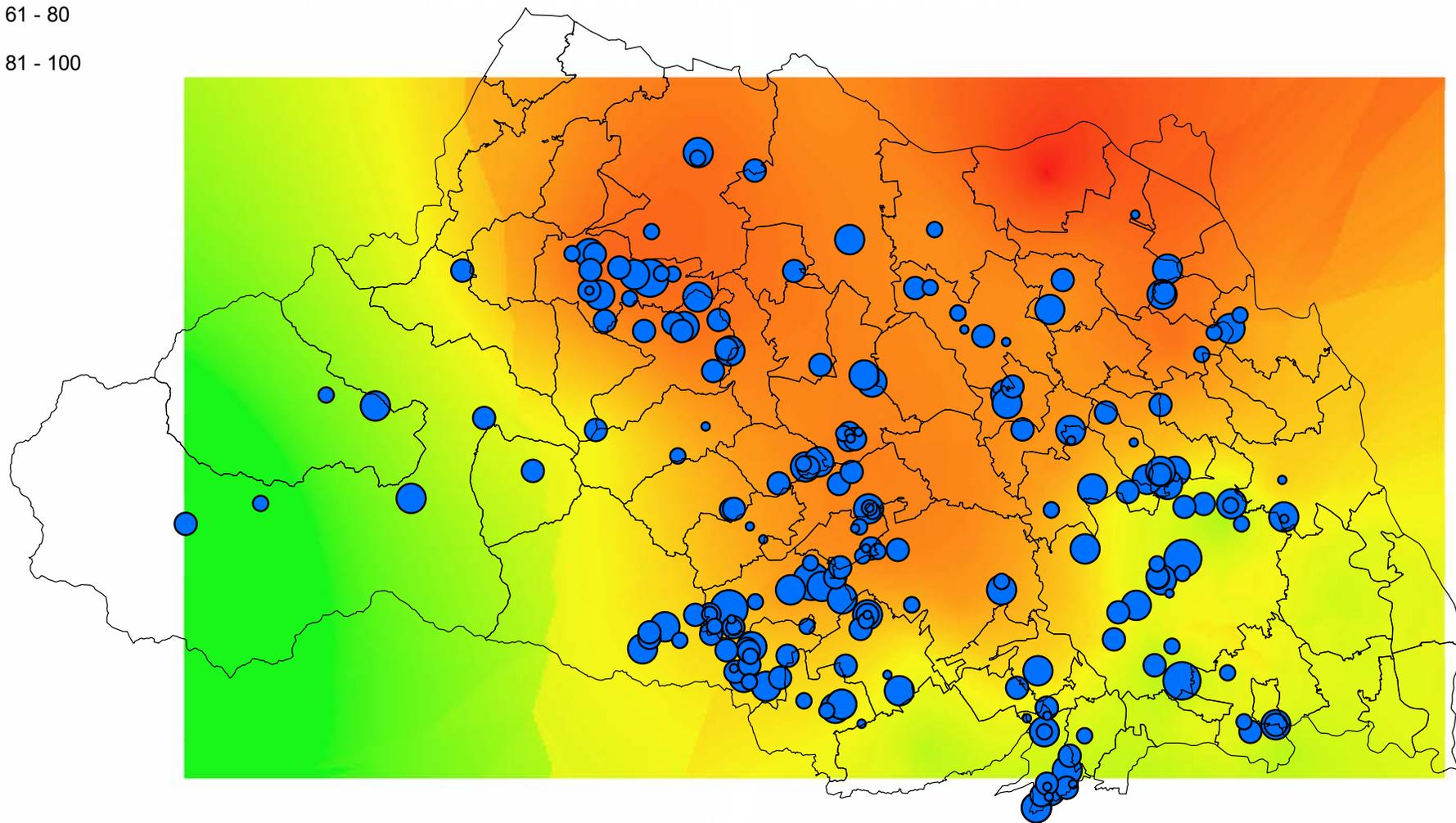
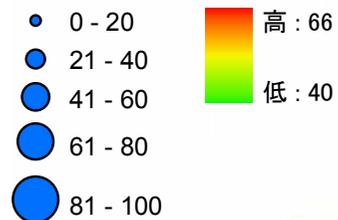
アサガオ被害調査－平成19年度結果－

5) 埼玉県におけるオゾン濃度常時監視測定点 (59地点)の7月の全地点月平均値

* 日平均オゾン濃度の全地点月平均値
: 26.3 ppb

* 日最高オゾン濃度の全地点月平均値
: 56.9 ppb

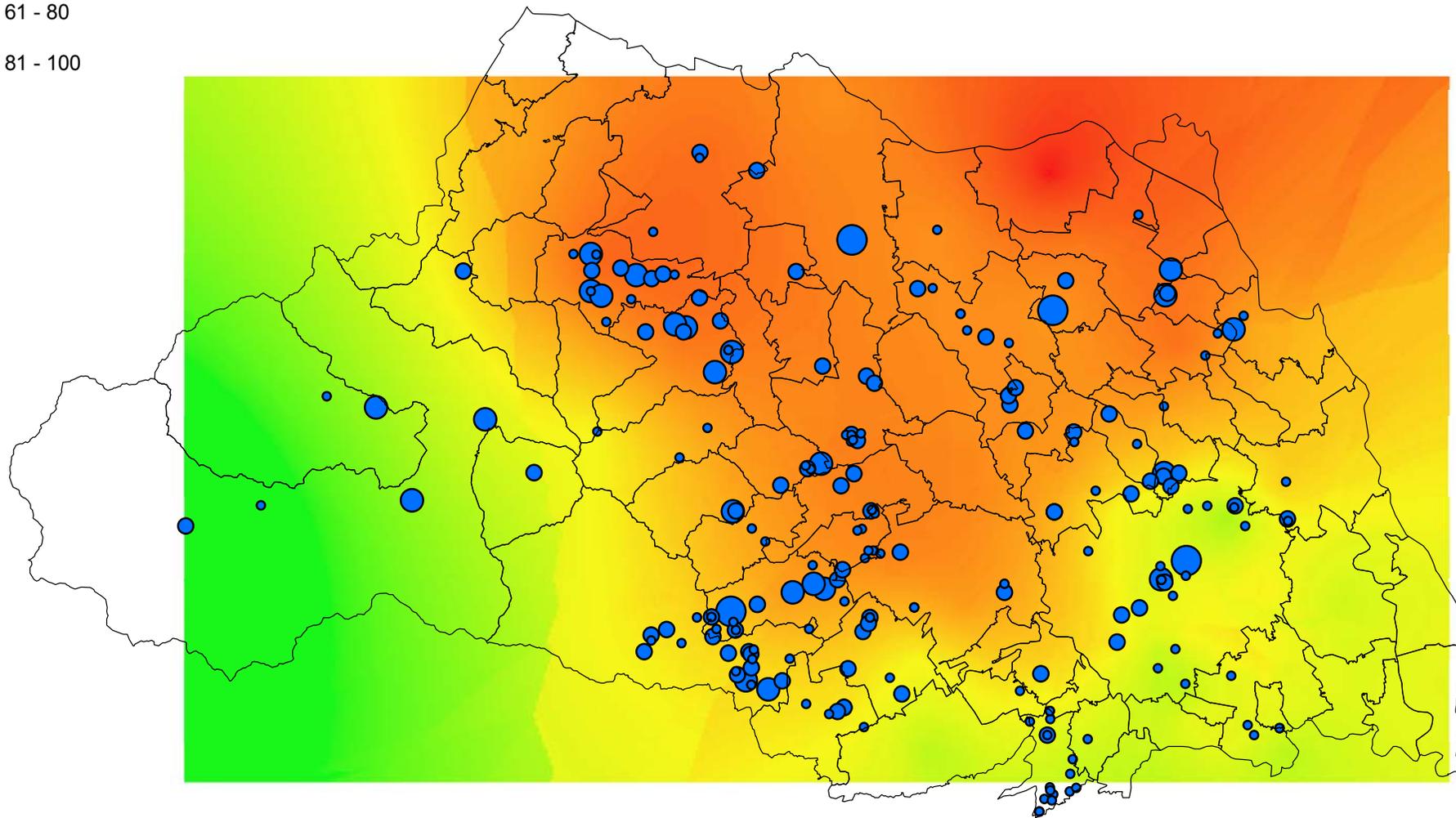
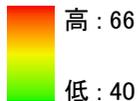
被害葉率(%) 日最高オゾン濃度の月平均値(ppb)



アサガオの被害葉率と日最高オゾン濃度の
月平均値(平成19年7月)の県内分布

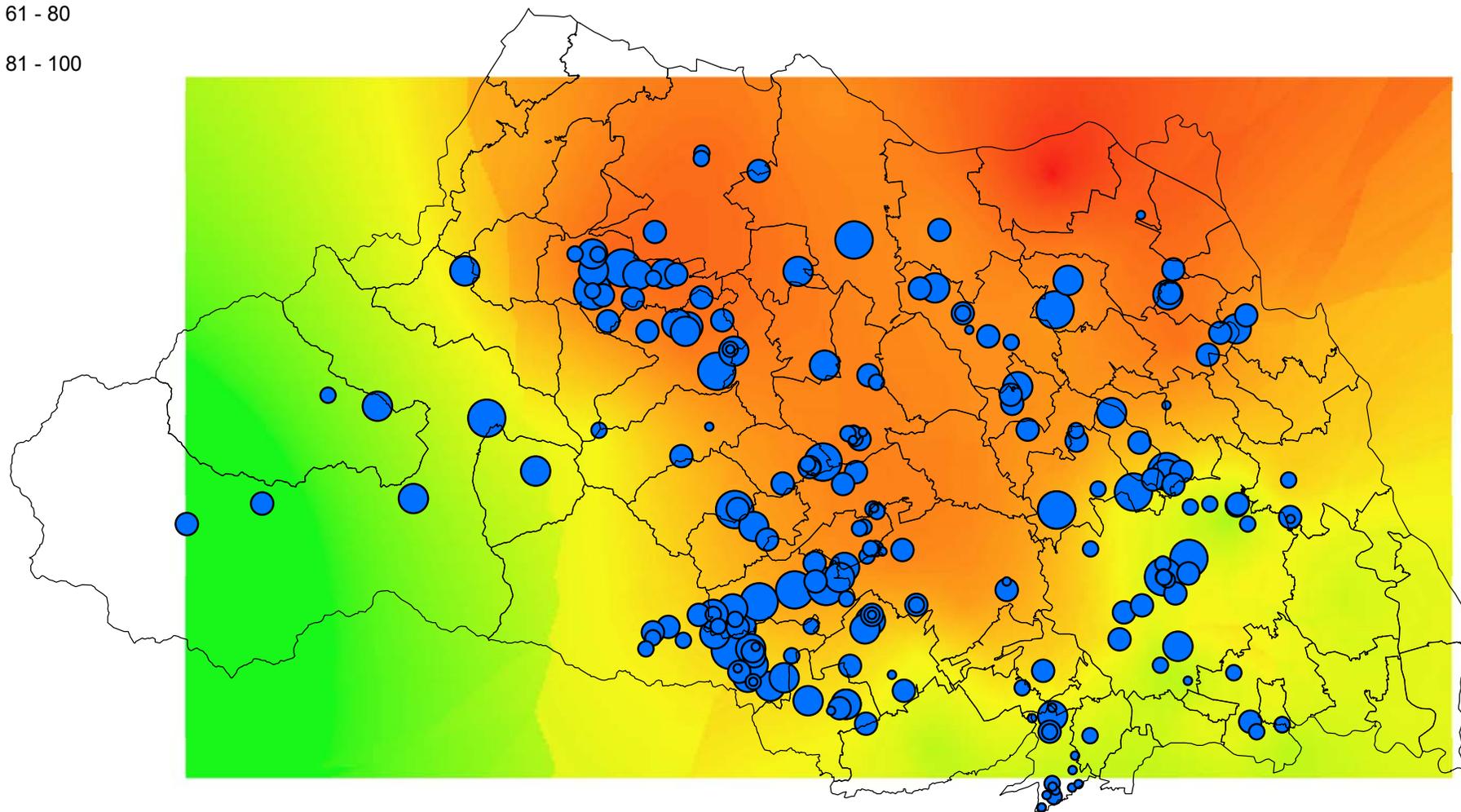
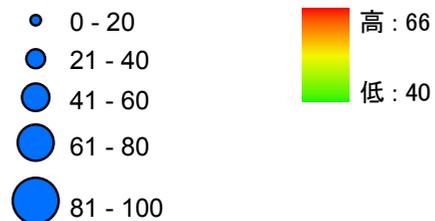
被害面積率(%) 日最高オゾン濃度の月平均値(ppb)

- 0 - 20
- 21 - 40
- 41 - 60
- 61 - 80
- 81 - 100



アサガオの被害面積率と日最高オゾン濃度の
月平均値(平成19年7月)の県内分布

平均被害面積率(%) 日最高オゾン濃度の月平均値(ppb)



アサガオの平均被害面積率と日最高オゾン濃度の
月平均値(平成19年7月)の県内分布

平成17年から3か年実施された アサガオ被害調査の結果比較

	平成17年度	平成18年度	平成19年度
有効調査地点数	45地点	102地点	214地点
被害が発現した地点数	45地点(全地点)	102地点(全地点)	213地点
被害葉率の 有効調査地点平均値	54.1%	53.0%	45.2%
被害面積率の 有効調査地点平均値	39.1%	33.1%	22.2%
平均被害面積率の 有効調査地点平均値	71.0%	59.5%	45.7%
日平均オゾン濃度の 月平均値(7月)	27.6 ppb	27.4 ppb	26.3 ppb
日最高オゾン濃度の 月平均値(7月)	69.3 ppb	62.7 ppb	56.9 ppb